

浜益区におけるエネルギー供給の強靱化に関する意見交換

石狩市浜益区地域脱炭素に向けて
浜益区内の電力・温熱供給・付帯事業
実現可能性に関する地域協議資料

2023年1月23日

脱炭素社会の実現に向けて

脱炭素社会に向けた取り組み①：COOL CHOICE

脱炭素社会作りに貢献する製品やサービス、ライフスタイルなど、地球温暖化防止に向けたあらゆる賢い選択を促す国民運動の推進として行われています。

脱炭素社会に向けた取り組み②：地域の新エネルギー事業

脱炭素社会の実現には日本に住む私たちの協力は不可欠ですが、それだけでなく自治体などが主導する取り組みもあり、私たちはそのサービスを受けることができます。

脱炭素社会に向けた取り組み③：エネルギーミックス

自治体レベルでも行われていましたが、クリーンエネルギー（再生可能エネルギー）の導入への取り組みは政府主導でも進められています。

脱炭素社会に向けた取り組み④：世界への発信

パリ協定は多くの国が批准しており、目標達成のための取り組みが各国で行われています。脱炭素社会を実現するためには様々な革新的技術も必要となります。世界で協力し情報共有することで、パリ協定の目標達成を大きく進めることもできます。

地域脱炭素ロードマップ

～地方からはじまる、次の時代への移行戦略～

地域課題を解決し、地域の魅力と質を向上させる地方創生に資する脱炭素に国全体で取り組み、さらに世界へと広げるために、特に2030年までに集中して行う取組・施策を中心に、地域の成長戦略ともなる地域脱炭素の行程と具体策を示すものである。

全国各地域の関係者が、社会経済上の課題を解決するためにより良い地域づくりに努力している中で、脱炭素の要素も加えた地域の未来像を描き、協力して行動することで、地域が主役となって強靱な活力ある地域社会への移行を目指す。

国・地方の双方の行政府としても、こうした地域脱炭素の取組に関わるあらゆる政策分野において、脱炭素を主要課題の一つとして位置づけ、必要な施策の実行に全力で取り組む。

※国・脱炭素実現会議より抜粋

石狩市浜益区内の脱炭素事業に向けて

※脱炭素実現への可能性

石狩市浜益区の全エリア内、再生可能エネルギー利用の検討

地域内で想定される再生可能エネルギーの種類

太陽光発電 : 太陽の光エネルギーを太陽電池により直接電気に変換する発電方式

陸上風力発電 : 風のエネルギーを電気エネルギーに変えるのが風力発電

小水力発電 : 河川、農業用水、砂防ダム、などで利用される水のエネルギーを利用し水車を回すことで発電する方式

バイオマス発電 : 生物資源を直接燃焼したりガス化するなどして発電する方式

地域内で想定される設置可能場所（案）

太陽光発電 : 浜益区内 浜益スキー場跡地・その他

陸上風力発電 : 浜益区内 調査中

小水力発電 : 浜益区内 幌川・床丹川・千代志別川等

バイオマス発電 : 浜益区内 災害時指定避難場所

蓄電池 : 特定施設内・その他施設内

浜益区内の対象世帯数、行政施設、民間施設等

※現状把握

石狩市浜益区全域世帯

一般世帯数：686世帯・人口 1,108人（2022年12月度石狩市人口資料）

石狩市浜益区公共施設

浜益支所・国保診療所・浜益コミュニティセンター・浜益郵便局等

石狩市浜益区その他施設

区内災害時避難施設・コンビニエンスストア・高齢者サロン・工場、加工場等

石狩市浜益区跡地利用

閉校校舎、グラウンド（中央小学校・北部小学校・幌中学校・浜益中学校）

適沢コミュニティセンター（現在はワーケーション利用）等

石狩市浜益区内の脱炭素事業構想

再生可能エネルギー設備（電気）

①太陽光発電

出力：2MW以下（高圧電源）

②陸上風力発電

出力：1MW以下（高圧電源）

③小水力発電

出力：200KW（高圧電源）

④バイオマス発電（熱電併給タイプ）

出力：50KW以下（低圧電源）

⑤蓄電池発電

蓄電能力：500KW

⑥バイオマスボイラ

※①及び③の発電から余剰電力を蓄電

再生可能エネルギー設備に係る付帯設備

①定期メンテナンス事業

・太陽光・風力・小水力の各発電設備

②定期メンテナンス事業

・バイオマス発電設備のメンテナンス

③バイオマス燃料製造・配送事業

・バイオマス発電用チップ生産・施設への配送

・バイオマスボイラ燃料製造・配送

④バイオマス発電熱利用施設事業

・温室栽培等

⑤高速EV充電スタンド事業

⑥地域再エネ事業会社

・電力需給調整等

脱炭素事業イメージ

